



しば慎一

しんいち

国政報告

2024年6月号 vol.3

立憲民主党参議院比例 第18総支部 発行

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館1009号室 TEL: 03-6550-1009 URL: <https://shiba-s.jp/>



働く者・生活者のための社会をめざし
皆さまの代表として全力投球！

こんにちは。参議院議員のしばです、しば慎一です。皆さま方からのご支援を励みに、議員としての活動に元気に取り組んでいます。参議院議員になつて2年が経過し、永田町での身体の動かし方がわかってきましたが、「永田町の論理」に埋没することなく、初心を忘れず働く者・生活者の代表として汗をかいていこうとの思いを新たにしています。

昨年の初めての通常国会では、本会議登壇を2回経験し、今年の通常国会では、予算委員会で初質疑の機会を得ることもできました。また、財政金融委員会における植田日銀総裁とのやりとりは、大きく注目された金融政策の見直し直後ということもあり、実りある質疑になったと思っています。

カネにまみれた自民党政治に終止符を打ち、働く者・生活者のための政治を実現する機運が高まっています。政治を最も必要としているのは、政治から最も遠くにいる人たちです。政治が目向けるべきは、それぞれの地域・職場で日々懸命に働き暮らす人たちです。

そんな思いを胸に、めざすべき社会の実現に向け、小沢まさひと議員とともに全力を尽くしてまいります。皆さまの引き続きのご支援をお願い申し上げます。

参議院議員 しば慎一

国会見学に来ませんか

お待ちしております！



しば慎一事務所では国会見学を随時行っております。お申し込みは、しば慎一ホームページか、お電話にて受け付けています。



2023年8月～2024年4月に
国会見学にいらした皆さま

2023年

- 8月25日 ティグレフォーラム
- 9月1日 沖縄地本PSTメンバー
- 9月17日 新宿支部
- 10月20日 郵政金沢支部
- 10月27日 東京国際支部
- 泉州南支部
- 東北地本ユース・女性F・退職者の会
- 11月10日 大島支部
- 11月17日 全国林野関連労働組合
- 11月22日 千葉上総支部
- 11月24日 北海道支社支部
- 11月25日 東京西南支部
- 12月16日 南多摩支部
- 東京支社支部

2024年

- 1月13日 西多摩支部女性F
- 多摩中央西支部女性F
- 1月25日 中央ユース・女性F
- 1月26日 栃木連協
- 1月29日 南関東地本アドバンスセミナー参加者
- 2月2日 泉州北支部
- 2月8日 さいたま中央支部
- 2月9日 博多ちくし支部
- 岐阜西濃支部
- オホーツク南支部
- 十勝南支部
- 室蘭地方支部
- 2月13日 オホーツク北支部
- 2月16日 札幌南部支部
- 札幌東部支部
- 水戸支部
- 佐賀連協
- みの長良川支部
- 2月17日 練馬支部
- 2月22日 いしかり支部
- 長野連協
- 2月24日 魚沼支部
- 新津支部
- 2月28日 筑西支部・筑西支部退職者の会
- 道南連協
- 2月29日 上川北支部
- 3月7日 紀北支部
- 3月8日 北加賀支部
- 石川中央支部
- 3月15日 知多地方支部
- 3月22日 札幌中央支部
- 4月9日 名古屋北東支部
- 4月21日 中野杉並支部
- 4月23日 南関東地本
- 4月24日 南関東地本
- 沖縄地本退職者の会
- 4月26日 関東郵便輸送支部
- 千葉東支部
- 備南東支部

3月26日 参議院予算委員会

初めての予算委員会での質疑 「裏金」に揺れる政府・与党を 働く者の視点で追及

1月26日、通常国会が開会しました。会期は150日間、6月23日までの長丁場です。通常国会の前半は、来年度予算の審議に時間が当てられます。テレビ中継でおなじみの予算委員会が、テレビ中継がない日でも、連日国会で開かれています。

政府が提出する予算案の問題点を、予算委員会を通じて的確に指摘し、より良い国政の実現につなげることは、国会議員としても大変重要な役割の一つです。

その予算委員会にて、3月26日に初めての質問に立ちました。

予算案を提出し執行するのは政府・与党の役割です。その与党である自民党内で生じた派閥キックバック「裏金」問題は、予算執行を担う政府・与党の



加藤こども政策担当大臣



鈴木財務大臣



斉藤国土交通大臣

資格そのものが問われる大問題であり、私も本委員会でも時間を割いて政府・与党を追及しました。予算案にはその財源として国民から徴収する税金の見積額も提示されます。しかし今の自民党議員が「脱税」の疑いがあるにも関わらず、国税当局は国会議員への税務調査を実施していません。政治に対する国民の信頼を取り戻すためにも、鈴木財務大臣に「自民党議員への税務調査を実施すべき」と強く訴えました。政府は子ども・子育て支援の



動画はこちらからご覧いただけます。



財源として、医療健康保険料に一定額の上乗せ徴収を行う方針です。これは医療保険制度を歪めるうえに、実質的には「増税」であり、政府の説明はごまかし以外の何ものでもありません。「国民負担に対する真摯な議論をすべきである」と加藤こども政策担当大臣に指摘しました。少子高齢化と過疎化が進む我が国では、公共インフラの維持が喫緊の課題となっています。日本郵政グループとJR東日本が連携協定を結び、地方駅と郵便局とで窓口業務の一体運営を実施している例を紹介しました。公共インフラの維持・確保に向け、国として財政援助を行う必要性を、斉藤国土交通大臣に対して直接求めました。政府答弁への更問い、時間配分など、反省する部分が多くありましたが、今後も郵政事業のみならず、「働くもの」「生活者」のための政治が実現するよう、精進してまいります。

報活動



1/23 しば慎一後援会長である田村正勝教授が来室。国政に関する幅広い課題の勉強会を行いました



1/25 自民党「裏金」問題の国対ヒアリング。立憲民主党は国会が始まる前から実態把握を続けています



1/25 有楽町駅にて能登半島地震の募金活動。立憲民主党の仲間の議員とともに支援を呼びかけました



2/4 立憲民主党・党大会にて東京22区支部長の山花郁夫前衆議院議員とともに。多くの仲間の議員と党勢拡大・政権交代の実現を誓いました

3月21・22日 参議院財政金融委員会

業界団体の優遇から脱却し 生活者目線の政治を取り戻すべき

「所得税法等の一部を改正する法律案」は、予算審議と同時期に財務金融委員会で審議されます。通称「国税法」とも呼ばれる重要法案で、国民や企業からどのように税を徴収するのか、毎年度の税制改正に合わせて議論されます。

令和6年度の税制改正法案には、賃上げ税制の拡充が盛り込まれています。しかし大企業は業績が好調で、問題は中小企業が賃上げできるかどうかです。「減税政策と賃上げの因果関係が、政府の中でもはっきりとわかっていないならば、中小企業の賃上げ原資に対する直接補助を検

討すべき」と指摘しました。

日本の税制は「租税特別措置」の形をとった不透明な税制優遇が多く存在しています。自民党の裏金問題の原資となったパーティー券は、大企業も多く購入しており、その「恩恵」として政策効果の不透明な減税措置がはびこっています。

自民党「政治とカネ」問題の本質は、業界団体と政治が癒着することで、「働くもの」や「生活者」目線の政治が失われている点です。そうした税制からの転換を、法案質疑の最後の「反対討論」で主張しました。



動画はこちらからご覧いただけます。

